

9 3版 2015年(平成27年)8月31日(月曜日)

ファン獲得へ初心者向け公演

伝統芸能の普及活動に取り組むNPO法人「むすびの会」が、初心者向けのシリーズ公演「伝統芸能コトハジメ」を始める。日本舞踊と狂言をテーマにした第1回公演が9月5日午後2時、横浜市の横浜能楽堂で開催され、大盛況で山本東次郎の狂言が出演する。

森田ゆい事務局長は「観客を育てるシリーズしたい」と話す。狙いは「伝統芸能に触れる場として、側面のある伝統芸能の現状を打開したい」と言う。

東次郎はそうした理念に共鳴し、協力を決めた。当日は「芸能を通して日本文化について」をテーマに講演する予定だ。

NPO法人がシリーズで

「私の座右の銘は『師の跡を求めず、師の求めたることを求めよ』です。芸を舞うとは、足し算の発想ではない。足し算をするとは無駄が出る。芯だけを伝えるから、師の教えからは大きくなれない。そんなお話をしようと思う」

講演に先立ち、日本舞踊家の西川祐子が狭江節「八島」の舞を披露し、東次郎が稽古をつけた山本則孝、山本則秀による狂言「昆布売」が上演される。「昆布売」は、供を連れずに都を目指す大の力持ち、やむなく大名の太刀持ちになった昆布売が、逆襲に出て立場が逆転してしまう物語だ。

「実は、大名と昆布売も、刀一本の差ではないかというところ。ひょい仕打ちを受ける大名も、だんだんそれを染み込むようになる。狂言はあく下克上だと解釈されるが、そうではなく、人間関係なんです。目で見て楽しむのも面白いと思います」

森田事務局長は「外国人に日本の文化を説明できないことを悔やむ学生は多い。興味はあるけど、何を聞いたらいいかわからないという若者に、伝統芸能の世界から生きるヒントを学べるというところを知ってほしい」と話す。

0110・240・5



アンケートより

＜踊り＞一挙手一投足に魅入って拝見しました。表現なさろうとするお心使いが伝わってきました。幕の中にはいられてからも、ずっとそのまま役で歩いて行かれ感嘆。／伝統芸能に触れる機会は自ら動かないとなかなかない時代に、気楽に本格的な舞台を楽しく観られる貴重なイベントだと思います。パンフレットの解説や歌詞、お話のおかげで何倍も理解し、面白みを見つけることが出来ました。／

読売新聞 2015.8.31 夕刊記事

山本家の狂言が見たくてきましたので、日本舞踊は初めてみましたが、大変面白かったです。能、狂言の舞とはまた違いビックリしました。／この度の会の観客はどんな日本舞踊、能の公演にくらべても熱心な鑑賞態度をとっていた気がします。普通だったら徐々に会場全体に漂う眠気のムードが無く、どの方も一生懸命に鑑賞していたという感じを受けました。その雰囲気自体にも感激いたしました。

山本東次郎先生より 会の趣旨がお客様に良く伝わっていたと思う。僕も、今まで出会えないような方達に出会える場を作ってもらえることは本当に有難いと思う。感性を持っていながら、通常の舞台には辿り付かないような方に届けられたら嬉しい事です。

6. コーディネート事業

- 1) 2015.5.11 九段生涯学習館主催 文楽解説 吉田勘彌先生
- 2) 2015.9.23 足利市文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業主催 雅楽レクチャーコンサート 三田徳明先生 雅楽瑞鳳会
- 3) 2016.1.31 日比谷図書文化館主催 演劇への入口講座 「はじめての文楽、その魅力」 吉田勘彌先生

7. 会員情報

新入会者 19名 よろしくお申し込み申し上げます！



発行 2016年4月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <http://www.musubinokai.org>

新年度早々に九州で大きな災害がありました。皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。自然災害が起こると、能楽が完成する前より傳承されてきた『翁』のテーマ「天下泰平 国土安穩」がどれ程大きな祈りであるのかという事に改めて気づかされます。自然への感謝の心を持って日々を過ごしたいですね。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



文化の傳承

2020年の東京オリンピックを控え、日本の文化に関する興味が高まって来ている機運を感じます。今こそ理解者やファンを獲得しようとする伝統文化関係者によって、一昔前にはあり得なかったような魅力的な企画が多数展開されるようになり、むすびの会でもより多くの人々に伝統芸能の魅力を伝えようと、昨年度は解説付公演の伝統芸能コトハジメ その一 日本舞踊と狂言の巻や文楽の鑑賞+楽屋訪問 解説付を主催しました。また、会の定款上の普及する内容を「伝統芸能」から「伝統芸能及び関連の日本文化」に文言を修正し、茶の湯を通じた日本人の美的感覚や、他者に対する心尽くしの手法などを解説頂く茶の湯サロンや茶道部を開設致しました。



森田ゆい むすびの会事務局長兼理事

ところで伝統文化を普及する際に、伝統文化を通して「人々に何を伝えるべきなのか」という問題が大きく存在します。私個人としてもこの問題に真剣に取り組むたいと考え、昨年度、むすびの会に関わる先生方(5ジャンル14名)に芸能の本質を探ることを目的としたインタビュー調査を行いました。能楽(能・狂言・囃子方)、文楽(大夫・三味線・人形)、日本舞踊(歌舞伎舞踊・座敷舞)、組踊、琉球舞踊の先生方にお話を伺わせて頂きましたが、表現様式はそれぞれに全く異なっているにも関わらず、芸能の本質に触れる部分では、何れにも共通して以下の思考が含まれることを知ることが出来ました。

- ・人は誰しもが平等であるという思考
- ・人と争う事を肯定しない。争いを回避しようとする思考
- ・平和への祈り

詳しい内容については、別の機会にお伝えさせて頂きたいと思いますが、これらの思考が日本の文化の中には大きな核として存在しているという事を、まずはむすびの会の会員の皆様へ傳承してゆくことが出来たらいいなど考えています。

活動報告

1. 総会 (参加者 24 名)

2015.5.31 (土) 13:00~13:35 大塚文庫@自由が丘
第 13 回通常総会が行われました。詳細は議事録(昨年
発送)の通りです。



2. 講座主催

2015.5.31 (土) 14:00~15:10 大塚文庫@自由が丘

「日本人の身体づかい 小林寛道先生編 パート II」(参加者 45 名)

講師：小林寛道(東京大学名誉教授)



参加者からの感想

私にはたいへん有効な時間でした。専門学校の
ダンスの授業で活用させて頂きたいと聞か
ましたが、成果がありました。足の基点の捉え方
に小林先生の理論との共通点を発見し、嬉しく
なりました。

3. 文化祭主催

2015.5.31 (土) 15:10~16:15 大塚文庫 会員出演による文化祭(参加者 63 名)

参加者からの感想

講座や文字通り目の前で繰り広げられる舞踊には感激
しました。特に、内に秘めた心持ちを情感豊かに表現され
た地唄舞は初めて拝見したのですが、はんなりとしてとて
も良かったです。又、大塚文庫の富士の間 の空間は舞台と
客席に区別なく、演者と観客の親しい関係に贅沢な時間を
頂戴いたしました。／

初めての参加でしたが、スタッフの皆様のきびきびとし
た動きや、笑顔にこの会のパワーを感じ、とても素晴らし
いと思いました。(特に学生さんは微笑ましく、素晴らしい
気配りでした) 会場も、素晴らしい所で、むすびの会に
似合っていたと思います。／

とても刺激の有る文化祭でした。観客が上質でした。
発表の場、紹介文など切り口が良い事も感じました。
司会の方もお上手でした。



以下文責 文化祭担当：腰越めぐみ

4) 茶の湯サロン 平成 27 年度 全 4 回 (参加者 4 回合計 30 名)

2015.4.18 (テーマ:炭), 7.18 (風炉), 11.3 (茶会体験), 1.17 (初釜)

大田区内中澤先生ご自宅茶室 講師：中澤宗寿(表千家茶道講師)



参加者より

「炭」を置く順
番、角度、時間
等を丁寧に説明
頂け、先人の知

恵に驚き、感心し、納得しました。中澤先生は普段のお稽古では決して聞けないお
話や、めったに見せて頂けないものを見せて下さいますので毎回興味深いです。/
仲間意識も高まり和気あいあい。時に大笑いなどもしながら楽しんでいます。

5) 茶道部 平成 27 年度 4 月スタート 月 1 回

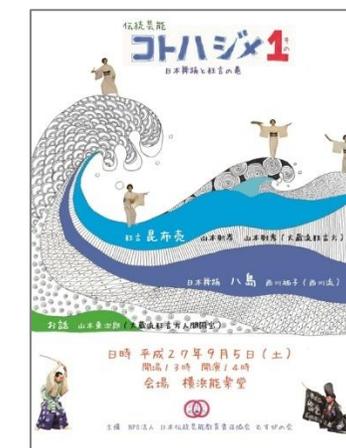
講師：中澤宗寿(表千家茶道講師) 現在部員 5 名

部員より 非日常的な空間で茶の湯のお稽古をさせて頂き、とてもリフレッシュさ
せて頂いています。先生もお優しく丁寧に、得難い時間を過ごさせて頂いています。

6) 伝統芸能コトハジメ その一日本舞踊と狂言の巻

2015.9.5(土) 横浜能楽堂

出演：日本舞踊 西川祐子 狂言 山本則孝、山本則秀 お話 山本東次郎



狂言『昆布売』で笑い、日本舞踊『八島』
で格好良さに痺れ、山本東次郎先生のお話
に感銘を受け、山本東次郎・西川祐子先生の質
問コーナーでは伝承者たちの心意気を知り、
東次郎先生からの小舞のプレゼントに大感激
の舞台となりました。

5. イベント主催

- 1) 落語寄席鑑賞と落語家さんとお話をする会
2015.4.26 寄席やねせん亭+喫茶 (参加者6名)
落語家：三遊亭円左衛門(真打)



事務局より

満席の寄席を特等席で鑑賞させて頂き、その後、師匠を囲んでの喫茶では皆さんから沢山の質問が出て楽しい一時を過ごして頂きました。

参加者より

なかなか落語家さんと直接お話し出来る機会などはないので、楽しかったです。

- 2) 日本舞踊体験講座

2015.6.13, 8.31 西川流十世西川扇藏稽古場 (参加者10名, 10名)
講師：西川祐子(宗家西川流 公益財団法人日本舞踊振興財団評議員)



事務局より

どちらの回も大学生が多く参加してくれました。コトハジメ公演への宣伝を含めて主催致しましたが、ほとんどの方が公演にも来て下さいました。

- 3) 文楽鑑賞+バックステージ見学+吉田勘彌先生(人形遣い)による解説
2015.5.11, 9.13, 12.12, 2.14(東京公演全4回) (参加者4回合計85名)



事務局より

初めて文楽を鑑賞する方が毎回半数近く参加して下さいました。その後リピーターとなって下さった方もチラホラ。中には文楽の本場、大阪にある国立文楽劇場にまで足を運ばれるようになった方も！嬉しい限りです。

日本舞踊『さくらさくら』(藤間流) 佐藤実紀、金本梨那、佐藤珠穂さん



藤間多京先生ご指導のもと、横浜市立荏田西小学校の六年生と、同校を卒業した中学生と高校生の3名で参加して下さいました。出演者には大人が多い中、初々しく、また華やかに盛り上げて下さいました。むすびの会としても、活動をして



いて嬉しくなります。これからもお稽古を続けてほしいですね！

民族舞踊 津軽じょんがら節〜おはら節〜 鈴木愛美さん



日本民族舞踊団の一員として古くから伝承してきた民族芸能を伝える活動を行っていらっしゃる鈴木さん。日本舞踊・地唄舞とはガラッと空気が替わり、じょんがら節の軽快で力強いステップと音楽。近くで見ていると迫力がありました。

参加者の皆さんも手拍子で楽しく参加してくださいました！



地唄舞『流しの枝』(吉村流) 真藤孝行さん

流派以外の会に出演して勉強の機会を得たこと文化祭に参加しましたとのこと。吉村流で名の知られた舞手でいらっしゃいますのに、ご出演くださり、有難いことでした。曲は『黒髪』と同じく、恋心を歌った曲です。

男性が舞う地唄舞のお姿(男性が女性の動きで男性への恋心を表現する)を拝見する貴重な機会になったと思います。体づかいもしなやかで美しく、見とれてしまいました。



お花 真池坊家元 阪本澄さん



会場をお花で飾り付けて下さいました。素敵な会場が活け花で更に華やきました。先生によるお花の解説では「芍薬は蜜がたくさん出るので中々お花が開かないことがある」というお話が印象的でした。中々聞くことの出来ないお花の豆知識、とても勉強になりました。

ゲスト 地唄舞『黒髪』(堀派神崎流) 神崎貴文さん

歌舞伎の下座音楽としても知られる地唄の名曲を舞ってくださいました。切ない女性の恋心を唄っている曲です。座敷で舞われて伝承されてきた地唄舞。お客様と舞手の距離が近いことから独特の目線づかいや扇づかいなどの特徴があります。



視線や仕草の艶っぽさに思わず見入ってしまいました。お座敷の様な距離で地唄舞を拝見することは中々ないので、印象深い体験となったのではないのでしょうか。神崎貴加江家元のお話も興味深かったです。



文化祭担当事務局より

今回の文化祭では、色々なジャンルの芸能を見ることが出来、楽しんで頂けたのではないかと思います。会員の皆様のご活躍を間近で見られたのも、とても楽しかったです。むすびの会の活動の様子は Facebook にも掲載されています！ぜひご覧ください。

4. 指導者紹介支援事業

1) 「身体表現」の授業の一環として日本舞踊の指導

2015.6.25 青山学院女子短期大学 (専攻科 1 年生 40 名)

講師：神崎貴加江(地唄舞堀派神崎流二世家元)



事務局より

先生方の勉強会を兼ねた講義でした。生徒の皆さんはとても覚えるのが早く、授業時間内に「浮舟」という演目を1曲とおして舞うことが出来ました。

扇を「屏風」や「舟の檣」に見立てる振付けの時には、今の人にもわかりやすいような説明で、楽しくご解説頂きました。

2) 日本の伝統芸能を体験してみよう！和楽器と日本舞踊の紹介と体験

2015.7.27 大田区立松仙小学校 夏休み講座 (希望者20名)

講師：わざをぎ(東京藝術大学出身の若い邦楽家と日本舞踊家のチーム)



1 3) 留学生中心の理工学部大学院生対象に茶道の動きを英語で紹介

2015.12.24 慶應義塾大学大学院理工学研究科

Mechanical Interface Design(授業履修者 29 名)

講師：中澤宗寿(表千家講師)



教員からの報告

留学生が大半の授業で、日本の動きを紹介したいと考え、茶の湯に着目し、道具と腕の操作を中心とした動きについてデモンストレーション付きの授業をお願い致しました。中澤先生が動きの安定性や人に安心感を与える動きについて、支点や重心のキーワードを用いて分かりやすく解説をしてくださったので、学生のレポートは充実していました。

学生たちにとって、よいクリスマスプレゼントにもなり感謝申し上げます。

1 4) 「おもしろ邦楽セミナー」出演に向けての日本舞踊指導

2016.2.20(土) 横浜市立荏田西小学校 (参加者 8 名)

講師：藤間多京(藤間流師範 希京会会主)



生徒さんからの感想 (一部抜粋)

本番のとき、七五三くらいひさしぶりに着物をきて、うれしかったです。お化粧や、かんざしをつけたりすると、なぜか自然に「がんばろう」という気持ちになり、本番が楽しみになりました。本番では、思ったほどきんちょうなくて、楽しく、上手にできました。練習のときは「少し長い」と感じていた「さくら さくら」の曲が、すぐ終わってしまいました。

保護者様からの感想 (一部抜粋)

日本の文化って、素敵だなと、あらためて思いました。私も含め、日本人は自国の文化をあまり知らずに生きてきたように思います。今回のセミナーで、とても日本舞踊を身近に感じることができ、親子共にとても良い体験になりました。

事務局より

ソーラン節を毎年運動会で披露している学校だということで、ソーラン節を格好良く踊る振付をご指導くださいました。子ども達のテンションがあがりっぱなしで、盛り上がり、ちょっとした運動会のような様子でした。

7) 講座「日本舞踊って難しいの？」

2015.9.18-19 横浜市立市ヶ尾中学校 わくわく交流会 (中学1年～3年7名)

講師：藤間多京(藤間流師範 希京会会主)



生徒さんからの感想 (一部抜粋)

講座を受ける前は、日本舞踊にはあまり縁がなく、日本舞踊は比較的ゆっくりした踊りなので簡単に踊れるだろうと思っていました。ですが、実際に踊ってみると、手先などの細かい部分を意識しなければならず、思っていた以上に難しく、着物を着るのも大変でした。(2年女子)

ビデオを鑑賞して、日本舞踊はただ踊るだけでなく、物語も表現できるということを知ることが出来ました。そういった体験を通して、日本舞踊は「綺麗」や「恰好良い」といったイメージを持ちましたが、小道具紹介で「ひょっこ」という仮面を知って、綺麗だけでなく、コミカルな部分まで表現できるんだな、と思った。(2年女子)

日本舞踊指導補助の先生より

事前学習指導日には浴衣の着方の指導をおこない、翌日の講座では日本舞踊に関する講義、小道具の使い方、日本舞踊の鑑賞をしてから「さくら さくら」の稽古をしました。体育教諭の女性の先生も「普段、着たことがないんですけど、」と仰りながらも、一緒に浴衣を着て、参加してくれました。皆さんとても熱心でした。

教員からの報告

浴衣を着させていただき、普段とは違う雰囲気の中でとても充実した、そして凛とした時間を過ごすことが出来ました。生徒たちもいつもと様子が違い、その姿を見ることができたことも私にとっては意味のある素晴らしい時間でした。

8) お月見会での茶の湯体験サポート

2015.9.25 田園調布ナーサリー (年中年長 25名)

サポート講師：中澤宗寿(表千家茶道講師)



参加者からの報告

保育園でのママ主催のお月見会を行う中で、茶の湯体験を行うことになり、茶碗の貸し出しサポートや細かい手順などのご指導を賜り、大変に助かりました。

9) パフォーマンス行事での着付けサポート

2015.11.8 明治大学情報コミュニケーション学専攻 (波照間ゼミ 20名)

サポート講師：腰越めぐみ(むすびの会事務局)

教員からの報告

パフォーマンスの中で着付けを必要とする学生が5名おり、むすびの会さんにサポートを依頼しました。短時間で着付けてくださり、お蔭さまで、リハーサル、本番とスムーズに進行することが出来ました。

10) 留学生対象の落語講座

2015.11.18 十文字学園女子大学 (留学生別科 26名)

講師：三遊亭円左衛門(真打)

教員からの報告

中国からを中心に、ベトナム、スリランカなどからの留学生を対象に落語の解説を一席のように語って頂き、その後、落語を一席。さらに体験指導を賜りました。留学生たちも師匠の話芸に惹かれ、大変充実した時間となりました。

11) 学童保育での日本の伝統芸能体験

2015.12.8 学童塾 PaPie パピエ (学童に通う児童 76名)

講師：わざをぎ(東京藝術大学出身の若い邦楽家と日本舞踊家のチーム)

教員からの報告

4カ所にある学童塾より児童を集めて合同の行事として行いました。最初は緊張気味な生徒たちでしたが、わざをぎさんの魅力的な授業内容にどんどん惹かれていくのが良く分かりました。教員も楽しく学ばせて頂きました。